

単元名：ならした大きさの求め方を考えよう

本時の目標：「平均」の意味と求め方について理解する。

【第 1 時 / 全 6 時】

児童が働かせる数学的な見方・考え方

1 人 1 台端末の活用

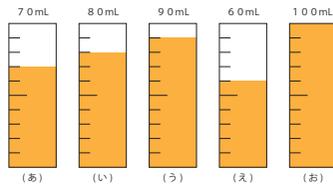
数量全体に着目し、平均を求める方法を、日常生活の具体的な場面と図や式などを相互に関連付けて考える。

「思考し、表現する」場面：画面上で図を移動して、平均の求め方を考える。
「交流する」場面：考えたことを共有し、交流する。

授業展開

「見通しをもつ」場面

問題



○ ジュースの量をならすと、1 個のオレンジから何 mL のジュースができたことになりますか。

T 「ならすとは、どのようなことか知っていますか。」

C 「同じ量にすることです。」

T 「今までに、何かをならして、同じ量にしたことはありますか。」

C 「家族でジュースを分けるときです。」

C 「トランプを配るときです。」

T 「家族でジュースを分ける時など、生活の中で使っている方法を参考にして、ならした量を求める方法を考えましょう。」

めあて

○ ならした量を求める方法を考えよう。

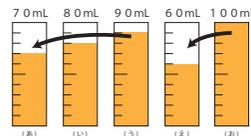
「思考し、表現する」場面



ジュースの量を表した図を移動して考える。

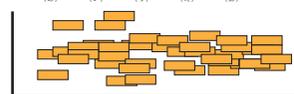
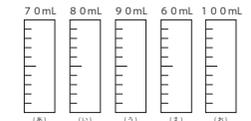
T 児童が問題を解決する過程を振り返り、考えたことを改善できるように、どのように操作して平均を求める方法考えたのかを尋ねる。

C1 「多いところから、少ないところへ移動しています。」



T 日常生活を振り返り、他にも平均する方法がないか尋ねる。

C2 「全てを足し合わせたのち、等分しています。」



T 操作しなくても、全てを足し合わせたのち、等しく等分することはできないか考えるように投げかける。

C3 「全てを足し合わせたのち、等分する方法は $(70+80+90+60+100) \div 5 = 80$ でも求めることができます。」

「交流する」場面



C3 の考え方を大型提示装置に映し、どのように考えたのかを学級全員で考える。

T 「C3さんは、ならした量を求めるために $(70+80+90+60+100) \div 5 = 80$ という式を立てました。どのように考えたのでしょうか。」

C 「 $(70+80+90+60+100)$ は、ジュースの量を全て足し合わせた、合計の量を求める式です。合計の量を5つの容器に等分するために、5で割っています。」

C 「図を動かして考えた、全てを足し合わせたのち等分する方法は、計算でもできることが分かりました。」

T 「どのようにしてたら、ならした量を求めることができますか。」

まとめ

合計を求めて、個数で等分する。
平均 = 合計 ÷ 個数

T 「なお、いくつかの数や量をならして、等しくしたときの大きさを、それらの数や量の平均といいます。」